

感染症発生動向情報

(大分市保健所)

大分市

(2019年22週 5月27日～6月2日)



コメント欄

⚠️ 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は13.00 (警報レベル20) と注意が必要です ⚠️

感染性胃腸炎は、ウイルス(ノロウイルスやロタウイルスなど)や細菌などが原因で起こる疾患で、一年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。症状は原因となるウイルスなどによって異なりますが、主に嘔吐や下痢、腹痛、発熱などがみられます。多くの場合、汚染された水や食品による経口感染や、感染者の嘔吐物や便に触れた手を介して感染します。予防のためには調理前・食事前や排便後の手洗いを行い、タオルの共用は避けましょう。嘔吐物や便などを処理する際はマスクや手袋を着用し、ペーパータオル等で嘔吐物や便を拭き取り、ビニール袋などに入れしっかりと封をして廃棄してください。その後、汚れた衣服や物品・嘔吐物・便のあった場所を中心に次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)で消毒してください。



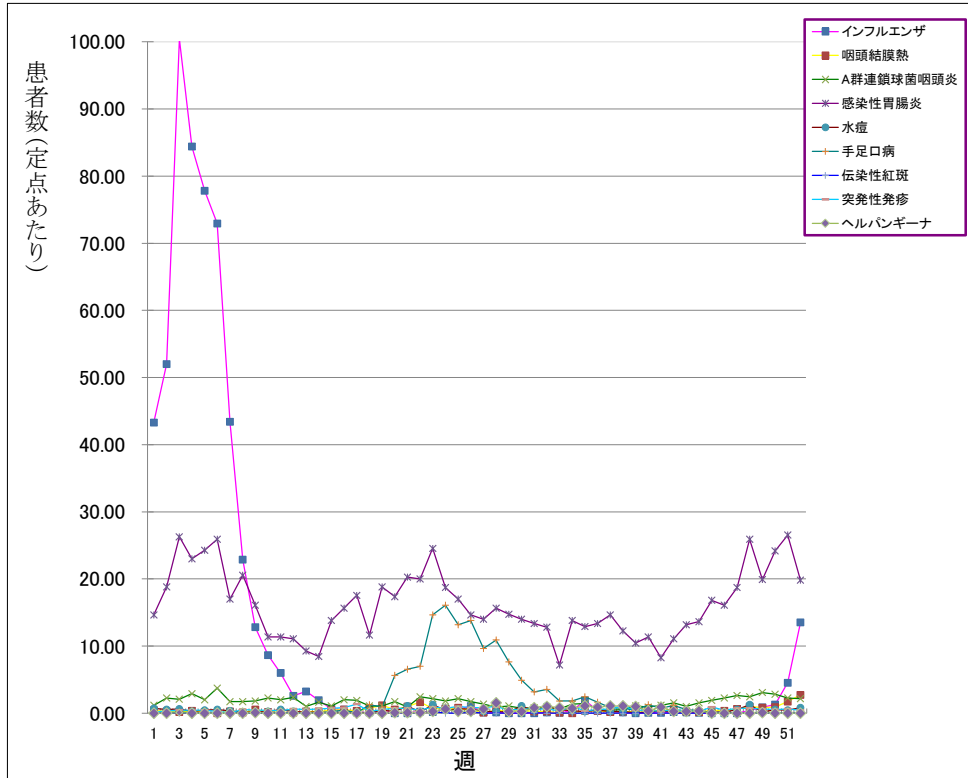
	1			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	A型	B型	不明											
	インフルエンザ			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水ぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎
0歳					0.09		0.82		0.36		0.18	0.09		
1～3歳				0.09	1.09	0.18	4.74	0.09	3.55	0.28	0.55	0.46	0.09	
4～6歳					0.09	0.37	4.27	0.28	0.09	0.27		0.09	0.18	
7～9歳							1.45	0.18					0.09	0.09
10～14歳						0.18	1.18			0.09				0.09
15～19歳							0.36							0.27
20歳以上							0.18							
計	0.00			0.09	1.27	0.73	13.00	0.55	4.00	0.64	0.73	0.64	0.36	0.45
70歳以上(再掲)														
前週	0.06			0.27	1.55	1.55	11.82	0.00	3.82	0.55	1.00	1.09	0.36	0.09

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点当たりを概算して計上(定点数 インフルエンザ17 小児科11)

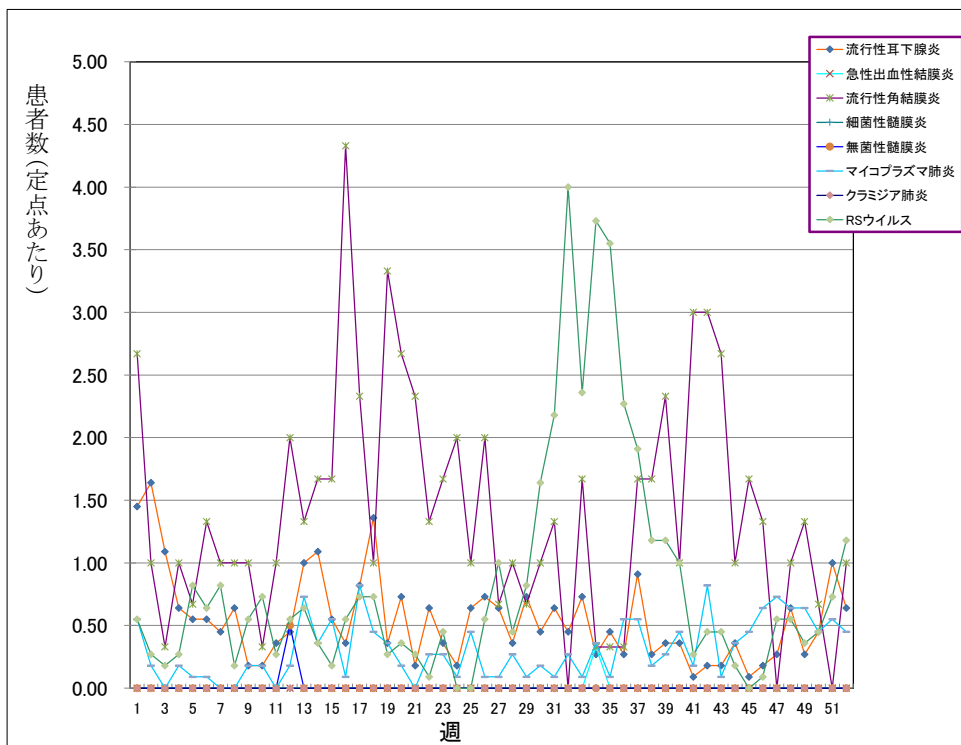
☆2008年1月1日より、麻しん及び風しんはすべての医療機関から報告のある全数報告に変わりました。

麻しん・風しん全数報告 (大分市内医療機関分)	年代	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25歳以上
	麻しん	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0

2018



2018



掲載内容について、不明な点は下記へお問い合わせ下さい。

大分市保健所保健予防課
 電話 (097)536-2851
 FAX (097)532-3356